

ねらい

5歳児:1年生と交流しながら、優しくしてもらうことにうれしさを感じ、1年生になる期待やあこがれの気持ちをもつ。

1年生:5歳児との交流を通し、園児と心を通わせることで自己有用感を高める。

本時のポイント

9月に鴨川で偶然を装った出会いを教師側で設定し、初めての出会いをした。そこから、5歳児を小学校に招いて交流を重ねた。交流を行うにあたって、教師間で、今の子どもの姿や交流する時期の予想される子どもの姿を共有し、どのように進めていくかを話し合った。

実践内容

9月『生活科 いきものと なかよし』

ダンゴムシは落ち葉の下の少し暗いところにいたよ!

先生!同じバツタなのに色がちがうよ!なんで?!



自然との関わり・
生命尊重



あっ!
にげちゃった!

ちゃんとにがしてあげようね。



協同性

言葉による伝え合い

生き物に関わる中で、体のつくりやすみかなどの様々なことに気付き、考え、自分の思いを友だちに伝えたり、共感したりするを楽しんでいました。また、その体験を通し、生命の不思議さや生き物との接し方について考えていました。

11月『図画工作科 スルスルビューン』

自分の力でやってみよう!

ここをひもに引っ掛けるんだよ。



道徳性・規範意識
の芽生え



この場所どうぞ!

順番にやろう!



自立心

協同性

1年生は5歳児に遊び方を優しく教え、ペアの子が楽しんでいる様子をうれしそうに見ていました。遊びが盛り上がってくると、「もっとやりたい!」という思いから、順番を忘れてしまう場面が見られましたが、「並ぼうよ!」と声をかけたり、「順番だったね。ごめんね。」と自分の行動を振り返ったりする姿が見られました。また、自分の力だけでやってみようとする5歳児もあり、1年生は、クリップを引っ掛けるのをさりげなくサポートをしたり、「がんばれ!上手だよ!」と応援したりするなどして見守っていました。

12月『生活科 あきと ともだち』

言葉による伝え合い

自立心

数量や図形、標識や文字など
への関心・感覚

豊かな感性と表現

どうやってやるの?

一緒にやってみよう!

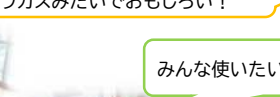
すごい!すごい!できた!

なかなか滑らないなあ?

わたしも作ったよ!しゅらしゅら♪
マラカスみたいでおもしろい!



すべり台の角度を変えてみるのはどうかな?



みんな使いたいから少しずつね。

協同性

思考力の芽生え

道徳性・規範意識の芽生え

1年生は5歳児に楽しんでもらおうと、グループに分かれて遊びを考えました。教師は、様々な素材や用具を準備し、選べる環境を設定しました。その中で子どもたちは、つくることと遊ぶことを分けるのではなく、つくっては遊び、遊んでは作り直すことを繰り返し、より楽しくあそべるよう試行錯誤していました。

当日、すべり台でどんぐりがうまく滑らず、困っている5歳児がいました。すると、1年生数人が「坂の角度かな?」と角度を変えてみたり、「大きいどんぐりよりも小さいどんぐりがいいかも!」とどんぐりの大きさを変えてみたりと、今までの経験の中で気付いたことを伝え合いながら、自分たちの力で解決しようとする姿が見られました。

交流を振り返って

- ・交流するにあたっての事前の打ち合わせで、それぞれの段階での子どもの実態や指導していることを共有することで、当日の子どもの姿をイメージし、準備することができた。
- ・子どもの学びには前があり、後ろがあると改めて実感した。幼児期で育まれた資質・能力をしっかりと捉え、小学校でそれらを基盤にして自己発揮できるよう、環境を設定したり、支援したりしていきたい。そのためにも、教師間でもっと連携し、互いの保育・教育を知ることが大切ではないかと感じた。